

「ミシンにトライ！」【本時までの流れ】

| 時数 | 学習内容 | 学習活動 | 評価規準【 】 |
|----|---------------------------|--|--|
| 1 | 衣生活を見つめて 題材を貫く問いの設定 課題の設定 | <p>○今までの家庭科の「衣」の学習でできるようになったことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一針に心をこめて〈手縫い・裁縫〉 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布をぬうこと ・玉どめ ・玉結び ・なみぬい ・かがりぬい ・まっすぐ縫うこと ・小物入れを作る ・まついぬい ・ボタン付け ・縫い目を美しく縫う ・返し縫い (本返し・半返し) ・糸通し ・布をたつ ・綿を入れる ・ワッペンを作る・つける <p>○手縫いのよさについて考える。</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思い入れがある ・細かく縫える ・持ち運びが可能・すぐにはできる (直すことができる) ・お金がかからない ・どこでもできる <p>○身の回りにある布製品はどんなものがあるか。</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ティッシュポケット ・図書バック ・ネックウォーマー ・学ラン ・弁当袋 ・ぞうきん ・ランチョンマット ・水筒カバー ・ハンカチ ・ふでばこ ・手袋 ・カーテン ・マスク ・制服 ・枕カバー ・洋服 ・エプロン ・スモック ・巾着袋 ・体操服袋 ・上靴袋 ・ナップサック <p>○なぜ布製品が多いのか。布製品のよさについて考える。</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安い ・肌にいい ・作りやすい ・形が変えられる ・自由自在 ・洗える ・繰り返し使える ・すぐにかわく ・さわり心地がいい ・破れても縫い直せる ・軽い ・種類が豊富 ・汚れてもいい ・好きな物を選べる ・入れやすい ・何度も使える ・他のものにリメイクができる ・布を組み合わせることができる ・丈夫で長持ち <p>○これからどんなものを作ってみたいか考える。</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書バック ・ぬいぐるみ ・〇〇カバー ・クッション ・上靴袋 ・ハンカチ ・ランチョンマット ・バック ・弁当袋 ・エプロンなど <p>○題材を貫く問いを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「使いやすくて」「丈夫で」「美しくて」「便利な」布製品を作るにはどうしたらいいでしょうか</p> </div> <p>○これから学びたいことを考える</p> <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシンの使い方 ・ミシンの縫い方 ・はしの始末 ・美しい縫い方 ・工夫の仕方 (糸のかえ方、布のかえ方、2枚の布のつなげ方 ・コツ ・ミシンの準備・片付け ・布の選び方 ・大きさの測り方 ・型紙など | <p>【思考・判断・表現】</p> <p>衣生活を見つめ、生活を豊かにする布製品を作るための課題を設定している。</p> |



○布について学ぶ

- ・布とはどんなものか
- ・布はどんな種類があるのか

○布の選び方について (製作するものの目的や使い方に応じて適した物を選ぶ必要があることを学ぶ)

- ・布はいろいろな種類があるんだ。
- ・制服のブラウスの布には、化学繊維が含まれているから、かたくて、ぱりっとしているんだな。
- ・ランチョンマットに向く布はどんなものかな。
- ・ランチョンマットはよく洗濯をするから、速く乾く方がいいな。
- ・丈夫な布の方がよさそうだ。
- ・あまり厚い布はぬいにくそうだな。
- ・薄すぎると、ランチョンマットには向かないかな。

○ミシンの取り扱いについて (空ぬいをして確認)

- ・ミシンの準備の仕方 (持ち方・電源の入れ方)
- ・ミシンの使い方 (動かすまでの流れ)
- ・ミシン縫いの際の姿勢・手の添え方
- ・直線ぬいについて
- ・直線縫いから角の縫い方

- ・ミシンが布をどんどん送り出してくれるから、手は軽く添える程度でいいのだな。
- ・角を曲がる時は、針をさしたまま、おさえを上げてから方向転換をするといいのだな。

○糸をつけて縫う練習をする

- ・糸の始末の仕方

- ・縫い終わったら、糸を奥に引っ張りだしてから、切ることが分かったよ。
- ・上糸と下糸で縫っているから、丈夫に縫えるのだな。
- ・おさえなどを目印にするとまっすぐ縫えたよ。

【知識・技能】

布について、扱いやすさや丈夫さなどの性質や、製作するものの目的や使い方に応じて適した物を選ぶ必要があることについて理解している。

ミシン縫いについて特徴を理解し、ミシン縫いをするために必要な基本的な操作について理解し、適切にできる。

【思考・判断・表現】

布を選ぶ際に気をつけることを考えている。

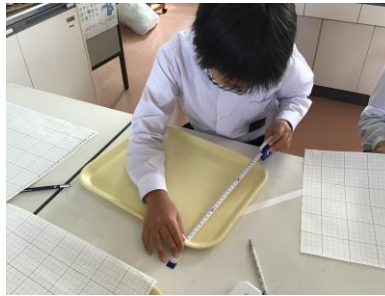


○ランチョンマット製作の手順について知る。

○大きさの測り方について考える

- ・おぼんを使ってランチョンマットの大きさについて考える。

- ・おぼんの形に合うように大きさを測るには、メジャーを使った方が測りやすそうだ。
- ・おぼんに汚れがつかないように、少し大きめに作るのかな。
- ・おぼんにぴったり合うためには、中を測るといいみたい。



○型紙について考える

- ・布の端の様子を観察させ、布は端の始末をしないとほつれてくることを知る。
- ・端をどう始末したらいいかを考える。

- ・布はフェルトとちがって、何度も使ったり、洗濯したりするとほつれてくるんだな。
- ・わたしのバックは、特別な縫い方で、ほつれを防いでいるみたい。
- ・ハンカチなどは2回折ってから縫ってあるから、ほつれてこないよ。

- ・布の端の始末について、同じ大きさの紙を使い、そのままのものと三つ折りをしたものを比べ、ぬいしろの必要性について考える。

- ・三つ折りをすると、小さくなってしまったよ。
- ・できあがりの大きさに折る分（三つ折りのところ）を足さないといけないんだ。
- ・ぬいしろっていうんだな。

○型紙はできあがりの大きさを確認し、型紙を作る。



【知識・理解】

三つ折りなどをして、布端の始末の仕方について理解し、適切にできる。

丈夫で、美しいランチョンマットについて、製作手順を理解するとともに、適切にできる。

【思考・判断・表現】

製作計画にそって製作した布製品について、実践・評価し改善している。

○しるしのつけ方を学ぶ。

- ・布の置き方
- ・型紙の固定の方法（まちばりのとめかた）
- ・しるしのつけ方



○布をたつ

○縫う手順について考える

- ・端の始末（三つ折り）、しつけの仕方について考える。
- ・アイロンの使い方について確認する。



・三つ折りは、できあがりの線まで1回折ってから、できあがりの線で折るといいんだ。

・まちばりはミシンの縫い目に垂直にとめることを知ったよ。・しつけは布がめくれないうために、ずれないうためにする。

・ミシンは内側を縫うから、しつけは真ん中から外側のところに縫わないといけなう。

・しつけは大きな縫い目がかまわなう。



・ミシンで縫う。（左右を仕上げる）

※美しい縫い方、丈夫な縫い方について考えながら実践していく。

・まっすぐ縫うと美しくなるよ。

・内側を縫わないと、後でめくれてしまうよ。

・端はほつれやすいから、返し縫いをしないとけなう。

○上下を三つ折りして縫う。

・三つ折りが重なる場所の美しい仕上げ方について考える。

・重なる場所は中身がはみ出でこないうように、まちばりでしっかりととめておくよさそうだ。

○仕上げを行う。

○製作の振り返りを行う。

- ・ランチョンマットの製作を振り返り、気をつけたところ、もっとこうしたらよかったところなどをポートフォリオに記述する。

- ・「家庭科の窓」を使い、児童の気づきを広げ、整理していく。

- ・今回の製作で身につけた知識や技能について、記述する。

【快適】

- ・丈夫さを意識して、布を選んだり、返し縫いをしたりする。
- ・美しさを意識して、内側を縫ったり、まっすぐ縫ったりすることを心がける。
- ・まちばりをしっかり使ったり、アイロンで型をつけたりして、布がずれないように心がける。

【環境】

- ・布の無駄遣いがないように、端から布を置く。
- ・糸を出しすぎない。

【協力・協働】

- ・家族とのクリスマスパーティーのために、布を選んだ。

○学んだことを生かして、パフォーマンス課題に取り組むことを知る。

【パフォーマンス課題】

学んだことを生かして、学校が豊かになる布製品を作りましょう。製作時間は計画を含めて3時間半です。

- ・「豊かに」について考え、イメージを膨らませる。

- ・学校が楽しくなることかな
- ・学校が便利になることかな
- ・学校が明るくなることかな。

- ・次の活動までに作りたいものを考えておく。